

学校法人佐久学園



佐久の薫風

No.15

2021 (令和3) 年11月30日発行

発行人 学校法人佐久学園

編集人 佐久大学広報委員会

<http://www.saku.ac.jp/>

写真：大学祭華道展の準備をする華道サークルの学生

CONTENTS

特集 新科目でひろがる新たな学問の世界 ……2

Campus Memory ……4

佐久大生のページ ……5

社会連携・研究支援センター / リニューアル2号館・3号館 ……7

キャンパストピックス / 研究室探訪 ……8

ワクチン接種状況 / 佐久学園から ……10

新たな学問の世界

大切にしています。今年度、新たに開講した授業の"おもしろさ"にスポットをあて、きる科目もあり、学びの広がりが期待されています。

地域生活者交流実習Ⅰ

看護

本科目は地域に出向き、そこで行われている活動に参加し、地域で暮らす人々のつながりや看護の役割について考えることを目的とした実習です。新たな科目であり、入学して初めての実習場所が、病院から地域へと変わりました。コロナ禍で制限はありますが、チーム毎のテーマに沿って、近隣自治体で開催されるウォーキングイベントや健康講座・防災訓練、地域の清掃活動等、さまざまな活動に参加しています。本科目で学生は、住民・周囲に感謝しながら、感性豊かに多くの気づきと学びを得ています。



学生の声

集いの場で楽しく会話する高齢者の姿を見て、健康でいる秘訣の一つは会話かもしれないと思いました。防災訓練参加者と話す中で、住民の日頃の備えの意識の低さを知り、災害を自分の事として捉えてもらうための対策が必要と感じました。

CBL実習Ⅰ（通称：まちなか実習）

人間福祉

長野県は、公民館の数が日本一多いことで知られています。今年度は、佐久市内の3つの公民館に学生が出向いて住民活動へ参加して地域の方と触れあい、異なる世代の価値観を理解したり、地域課題に関心を向けることを目的としました。乳幼児学級をはじめ、俳句、川柳、詩吟、民謡、三味線、着付け、ジャズ体操等、学生にとってはじめての体験ばかりでした。



学生の声

・地域の活動に参加し、普段は触れ合うことのできない大人や幼児と関わりを持ち、自分自身が成長できる機会となったので良かったです。
・俳句会に参加しましたが、たくさん的高齢者の方と関わるのができ、生活感や想いが違うことを知ることができました。とても良い経験になりました。

CBL実習Ⅱ（通称：民泊実習）

人間福祉



農村地区での生活体験を通じて、住民の生活史や価値観を直接見聞きしながら、地域が抱える社会的課題を再発見する科目です。今年度は、小諸市、小海町、青木村の特定の地区（集落）に2泊3日でフィールドワークしました。その地域特有の産業、食や生活習慣に触れ、学生自身も、ひとりの生活者であることを自覚しながら地域への関心を高めました。

学生の声

・プライベートでは味わえない、まちの魅力や地域の方のあたたかさを、この科目を履修したからこそ知ることができたと思います！
・他人と話すことに不安がありましたが、3日間で仲間と話ができるようになりました。気軽な受講動機でしたが、貴重な経験ができて本当に履修して良かったです！

特集 新科目でひろがる

本学は、ヒューマンケアの総合大学として、人々の健康や暮らしに関わる学びを学生の声とともにご紹介します。看護学部と人間福祉学部の学生が合同で履修で

保育内容の理解と方法Ⅱ

子ども福祉

考えたこと感じたことなど、演習を通して自ら工夫をし、実際に現場で活かせる言語表現・造形表現に関わる技術や知識を学びます。また、保育者として、子どもに対してどのような支援を行えばよいのか、授業を通して気づき身につけることが出来ます。自然の中、身近に存在する物を素直に感受する心を大切に、創作した物に興味を持つ生活に心掛けることを大切にしながら、行う授業です。



学生の声

とても分かりやすく苦手なところも説明し教えてくれました。模擬保育でのアドバイスなどは、細かく教えてくれとても勉強になりました。作品を作る時には子ども目線での話と先生としての大事な部分をしっかりと伝えてくれ分かりやすかったです。

アジア事情

看護

人間福祉

日本と文化が似ていると思われがちな中国・台湾・韓国について歴史、政治、教育、文化について理解を深めることを目的とした授業です。特徴として期末にはグループごとに一国を選択し、学生が興味を感じたテーマについて紹介してもらいました。中には、冠婚葬祭など驚くような文化に触れるひと時にもなったと思います。

学生の声

- ・コロナで海外に行けなかったのが残念でしたが、アジア各国の文化などについて知ることが出来て、とても楽しかったです。特に台湾の文化についてとても興味があり、この授業でわかったこと、さらに調べてみたくなったことがあったりしてとても良かったです。
- ・今まで知らなかった話が聞けて、とても楽しい授業でした。



佐久の医療とケアの歴史

看護

人間福祉

この科目は、「地域医療の先進エリア」と言われる佐久地域の医療とケアの歴史を学びます。佐久地域とともにある大学だからこそ学ぶことができる科目です。吉沢先生(浅間総合病院)や若月先生(佐久総合病院)とともに活動した方々の講義等から自己の考えをまとめ、地域のニーズに応える保健医療福祉職を目指す者としての学修課題について考えます。看護学部、人間福祉学部の共通・必修科目であり、入学後、すぐに始まる授業です。

宇宙と生命の起源

看護

人間福祉

本科目では地球や生命の進化史を天文学、宇宙科学という立場から捉え直していきます。宇宙という「外からの視点」は、私たちの生命観や環境への問題意識にも重要な視座の転換を提供してくれます。また地球や人類の未来を展望するにあたって、今後ますますこのような文字通りの「グローバル」な視野が必要になります。授業ではこれらの分野で得られた知見を紹介しながら、生命観や人生観をより豊かにしていくことを目指します。

CAMPUS MEMORY

「先輩に聴く」

本学を卒業した先輩方に学生時代の思い出と今の仕事について語っていただきました。



中澤 友介

2020年度卒業

JA長野厚生連鹿教湯病院 看護師

入学当初、「友達できるかなー」ととても不安でした。そんな時1人の友人に出会いました。彼は誰にでも笑顔でした。彼と言葉を交わし、私は直感で気が合わないと感じました。しかし、気づくと一緒に活動することが多く、いつの間にか親友となっていました。いつどこで親友が待っているか分かりません。あなたも苦手だと感じている人とも是非友人になってください。きっといい出会いがあります。

現在、鹿教湯病院の東3階病棟で看護師として勤務しています。東3階病棟では様々な疾患を持った患者様が入院される一般病棟です。人工呼吸器の装着、中心静脈カテーテルの使用、気管切開した患者様など様々で日々とても勉強になります。



花里 沙絵里

2020年度卒業

信州上田医療センター 助産師

別科助産専攻の仲間たちと一生懸命分娩の技術練習をしたり、互いに励まし合いながら実習を乗り越えたことが、私にとって一番の思い出です。特に分娩技術を納得いくまで練習を重ね、徐々に自信がついていくのが嬉しかったです。実習中も辛い事楽しい事を共有しながら高め合いました。また、別科で過ごした1年間で新たな自分自身に気づくことも出来ました。

所属している病棟は混合病棟であるため、産科、婦人科だけでなく、耳鼻科や歯科口腔外科、小児科の患者さんも看護しています。1年目は助産師よりも看護師業務が中心でしたが、様々な分野の看護が学べました。先輩方は丁寧に指導して下さい、いつも気にかけて下さり、ありがたい環境下だと感じています。



山崎 一真

2020年度修了

長野県立木曽病院 診療看護師

大学院時代は、仕事との両立が思っていた以上に大変でしたが、臨床経験の異なる院生同士の意見交換は楽しく、大学院での学びの全てが現在の自分につながっています。私にとって診療看護師になることを目指し、院生同士切磋琢磨した2年間はとても貴重な時間となりました。

所属している長野県立木曽病院が設置されている木曽郡において、二次救急を担う医療機関は当院のみであり、夜間・休日の一次救急、24時間365日救急対応を担っています。4月より外来スタッフの一員として、主に新患対応や救急患者対応を行っています。来年度以降、今後看護師外来の開設に向けた体制づくりや当院での特定行為実施に向け、組織としてのシステム作りを行っています。



柳橋 美沙

2020年度卒業

軽井沢町 保健師

私は保健師として町直轄の地域包括支援センターで働いています。高齢者を中心にした支援ですが、コロナ禍で病棟での家族立会いの看取りが難しい状況から在宅でのターミナル支援も増え、大学で学んだ知識全てを基礎として今も日々学び続けています。個別支援だけでなく集団対象の事業も担当しており忙しいながらもやりがいのある毎日を送っています。

在学中は学友会会計係、大学祭でハンドトリートメントのブースを出展、卒業対策委員などをしてきました。在学中は勉強と実習に追われて何も出来なかったような気がしていましたが卒業して振り返ると級友と助け合いたくさんの経験をしており、人生の中で宝物と思える4年間でした。



工藤 かすみ (旧姓菊池)

2008年度卒業

御代田町社会福祉協議会 介護福祉士

私は介護福祉専攻2期生です。短大時代の思い出といえば実習です。2年間で450時間という実習はたいへんでしたが、介護を勉強したことで福祉全般に興味を持ち、さらに学びを深めたいと思い、卒業後東京の福祉大学に編入学しました。

現在、御代田町社会福祉協議会のデイサービスに勤務しています。認知症の利用者との関わりに戸惑うことが多く、育児休暇明けで3人の子育てをしながら体を使う仕事は正直辛いときもありますが、利用者の笑顔と感謝や労いの言葉が励みとなり、働けることが嬉しいので、これからもできる限り社協で仕事を続けたいと思っています。後輩のみなさんも、夢と希望をもって学業に励んでください。

佐久大生のページ

学生広報チームとして2019年に発足した【SPICE】。ふだんは佐久大学ホームページやInstagramでの情報発信をメインに活動している【SPICE】のメンバーが、キャンパスライフを紹介してくれました。



佐久大学公式Instagram

一般公開を中止し、感染対策を徹底した上で開催しました。

新しい環境での大学祭開催!

大学祭テーマ『RESTART ～ここから新しく自分たちで作り上げよう～』

10月23日(土)、第13回秋桜祭・第33回信陽祭を開催しました。

昨年は新型コロナウイルスの影響で大学祭は中止となり、1・2年次生にとっては初めての大学祭となりました。大学祭前日は、折り紙やお花紙を使って会場の飾りつけなどの準備を頑張りました。当日は、バルーンリリース、オンラインでのお笑いライブ、ビンゴ大会、軽音サークルと地域交流サークルによるステージ発表、華道サークルによる生け花展示等を行いました。最後の閉祭式では花火を打ち上げました。大学祭限定のランチボックスがとってもおいしかったです。今年は模擬店が開けず一般公開もできなかったのが、来年こそはやりたいです。

(大学祭実行委員会一同)



愛と涙の導入基礎演習



看護学部1年次に導入基礎演習という授業があります。導入基礎演習は学生が10個のグループに分かれ、それぞれのグループがSDGsのテーマを決め、グループで協力して発表を作ります。何回も話し合い、衝突しながら良い発表ができるよう追求した成果を発表しました。その結果、どのグループも優劣をつけがたい発表でしたが、優勝したのは「私たちが飢餓への支援として南スーダンへ送る循環money」です。毎年素晴らしい発表が沢山あります。

(看護学部1年 西條麻桜・築山未空)

バレーボール部



私たちバレーボール部では、看護学科・人間福祉学科・福祉学科の1～4年生で活動を行っています。顧問の先生も一緒にバレーを行っています。上下関係なく楽しむことができます!! 水曜日と金曜日と土曜日に活動をしています。興味があったら是非見学に来てください!!!

(信州短期大学部1年 丸野礼斗)

バドミントンサークル最高?!



バドミントンサークルは、毎週月曜日の授業後に体育館で活動しています。21人が所属していて、初心者や経験者、学部や男女関係なく楽しく活動しています。バドミントンをするだけではなく、コミュニケーションをとることも大切にしていて、とても仲がいいサークルです。サークル活動では、普段なかなか運動をする機会が少ない学生も程よく体を動かせるのでストレス解消にも繋がります。今後の活動にも積極的に参加していきたいです。

(看護学部1年 西條麻桜)



佐久大学に羊!

佐久大学に長野県佐久平総合技術高等学校浅間キャンパスで飼育をしている羊が4頭やってきました。羊のために設けられているグラウンドの草をたくさん食べてくれました! 学生が講義と講義の隙間時間に羊を見に行ったり、講義の教室に移動する時にも校舎からもよく見えました。10月中旬に高校へと戻っていきます。

(人間福祉学部1年 山崎純夏)



記念植樹

5月22日(土)に佐久大学人間福祉学部開設記念式典が行われました。その中で「シラカシ」と「ソヨゴ」の記念植樹をし、人間福祉学部の学生代表2名が、理事長や学長、学部の先生方と貴重な体験をすることができました。

植樹から数ヶ月経ちますが、植樹した木々にも季節が感じられるようになり、「シラカシ」や「ソヨゴ」と共に学びを深め成長していきたいです。

(人間福祉学部1年 清水拓斗)



Smile nature camp

先日、クラスアワーの時間に外部講師の上原先生に来ていただきソロキャンプを行いました。先生から説明を聞き、自分の名前をニックネームで書き名札の代わりとして付け周りの人と自己紹介をしました。好きなものが一緒だった人とグループになり活動をしました。

寝袋を広げ、ヒモでとめ実際に完成した寝袋に入ってみました。

入ってみると中は暗く目をつぶってみると、居心地よく眠くなりました。

寝袋を引っ張ってもらおうと怖いと感じましたが、子どもの気持ちを感じながら楽しさも味わうことができました。短い時間の中でしたがとても楽しく活動ができ貴重な体験ができ良かったです。

(信州短期大学部1年 澤井汐音)



社会連携・研究支援センター

センターの活動をご紹介します

コロナ禍での活動となるため適切な感染対策を取りながら実施しています。また、新しい活動・研究様式としてオンライン等を活用し、よりよい社会貢献を目指し教職員一同励んでいます。

さくカフェ(認知症カフェ)

毎月1回開催しているさくカフェは、COVID-19感染防止のため8月9月はお休みとなりました。3か月ぶりとなる10月16日のさくカフェでは、本学の高松准教授によるバイオリン演奏があり、皆、感動で胸がいっぱいになりました。



JICA日系社会研修

10月5日～9日

「地域保健医療福祉―病院から地域への多様によるチーム医療福祉」をテーマに、ブラジルとアルゼンチンをオンラインでつなぎ研修を行いました。本学の東田吉子客員教授がプロジェクトマネージャーを務め、本学から配信しました。



佐久大学公開講座

第1回 9月18日

小雀保育園理事長 鷹野禮子氏
「メディア時代の子育てについて」

第2回 10月2日

人間福祉学部准教授 高松 誠氏
「地域が子どもと関わる時―過去・現在・未来から考える―」

第3回 11月6日

佐久大学客員教授ベーレ・ルッツ氏
「歩けること=寿命―幼少期からの足の保護と変形予防の重要性」

第4回 12月4日

聖路加国際大学大学院教授 小林京子氏
「新型コロナウイルスと子どもが受けた影響・大人ができること」

※詳細はホームページでご確認ください



教員免許更新講習

7月31日～9月26日

文部科学省の認定を受け、
免許状更新講習(全12講習)
を実施しました。

喀痰吸引等研修

10月9日～11月28日

介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修を実施しました。

2号館・3号館 リニューアル!

夏期休業中に改修を行っていた2号館・3号館の工事が完了しリニューアルしました。2号館1階には事務室(学生課・教務課)、2号館2階には保健室とカウンセリングルームが移設されました。また3号館1階には、新たに学生の憩いの場となる学生ラウンジが誕生しました。

保健室・カウンセリングルーム

この1年で3回の引っ越しを繰り返し、ようやく2号館2階に落ち着きました。

保健室は部屋を二つに分け、ひとつをベッドルームにしました。別室になったことでゆっくりと休んでいただけます。カウンセリングルームも新しくなり、より落ち着く空間となりました。保健室はこれまでどおり「学生なんでも相談室」も兼ねています。

どうぞお気軽にお立ち寄りください!



花里先生



神津先生



倉田先生



間宮先生



保健室



ベッドルーム



カウンセリングルーム

事務室(学生課・教務課)



学生ラウンジ



- 7/20 ● **高校で思春期教育を実施**
助産専攻の学生10名が野沢南高校で思春期教育を実施しました。



- 8/2 ● **立誓式**
介護福祉専攻1年次生が、実習に先立ち、立誓式を行いました。



- 8/4- ● **介護実習Ⅰ開始**
介護福祉専攻2年次生が、介護実習Ⅰを行いました。

- 8/17- ● **国際看護論演習**
看護学部生が8日間にわたり学内で演習を行いました。例年はタイ王国国立ブラパ大学での

海外研修を行います。今年度はタイとフィリピンと本学をオンラインで結び、授業を行いました。

- 8/27 ● **助産学実習オリエンテーション**
助産学実習を控え、実習施設から来ていただいた指導者の方に説明を受けました。



- 8/30 ● **地域看護学実習開始**

- 9/2 ● **ナースングセレモニー**
看護学部3年次生が実習を前に「ナースングセレモニー～誓いのとき～」が挙行されました。学生は、一人ひとりの「なりたい看護師像」と「実習の行動目標」をスライドにし会場で上映しました。



- 9/6- ● **領域別看護学実習開始**
看護学部3年次生が半年にわたる領域別看護学実習を開始しました。

- 9/6- ● **助産学実習開始**
助産専攻の学生が実習を開始しました。

- 10/16 ● **「災害ボランティアセンターについて考えよう」**
佐久市社会福祉協議会主催イベント「災害ボランティアセンターについて考えよう」が佐久大学共催で開催され、学生が当日の運営ボランティアとして参加しました。

- 10/23 ● **秋桜祭・信陽祭**
参加者を学生・教職員に限定し、感染防止対策を徹底した上で開催しました。バルーンリリースや3年ぶりとなる打ち上げ花火を行いました。



シリーズ・研究室探訪 1 看護学研究科 修士論文コース 成人看護学領域

佐久大学大学院には、修士論文コースとプライマリケア看護コースがあり、修士論文コースには10名が在籍中です。このコースでは、各自の関心に応じて7領域から1つを選びます。現在、成人看護学領域には2名在籍しており、二人とも仕事と学業を両立しています。授業日は週2日で、仕事の都合で週1日通学の方は、長期履修制度を利用しています。1年次は主に科目の履修に、その後は、修士論文の作成を頑張っています。

修士論文作成は、長期的で大きなプロジェクトです。成人看護学領域では、ほぼ毎週ゼミを行い、リサーチクエスションの焦点化・文献検討・研究計画書の作成・データ分析等、研究プロセスを一步步進めています。ディスカッションを通して、臨床を振り返り、看護の奥深さに改めて触れています。看護実践に基づいた研究に取り組んでみたい方、進学を考えてみませんか。



水野 照美 教授



5/10- ● EBN実習Ⅰ開始

看護学部2年次生がEBN実習Ⅰを行いました。

5/16- ● パパママ教室

助産専攻の学生がパパママ教室に参加しました。

5/17 ● フードドライブによる学生支援

JA佐久浅間女性会より、多くの食品類を本学学生へ寄贈いただきました。



5/22 ● 人間福祉学部開設記念式典

来賓、本学教職員、学生約150名が出席し、記念式典および記念講演、植樹を行いました。



5/25 ● 「地域と文化」学外授業

短期大学部1年次生が五郎兵衛記念館での学外授業を行いました。



5/29-30 ● 日本看護倫理学会年次大会

本学の八尋道子看護学部長が大会長を務める日本看護倫理学会第14回年次大会がWeb開催されました。合わせて市民公開講座も開催しました。

6/1- ● COVID対策隊による構内放送開始

学生が組織するCOVID対策隊が、感染予防に関する構内放送を開始しました。週3回お昼の時間に、黙食や歯磨き、手洗い使用について注意喚起を行いました。



6/9 ● ウイルス除菌・消臭機を設置

株式会社ナノシード様より、新型コロナウイルス感染症対策の支援として寄贈いただき、講義室や図書館・学生食堂に設置しました。

6/10- ● EBN実習Ⅱ開始

看護学部2年次生がEBN実習Ⅱを行いました。

6/10 ● 段ボールそり体験

子ども福祉専攻1年次生が授業で、手作りの翼を付けて構内の土手を滑り降りるあそびを体験しました。



6/13 ● 地域生活者交流実習

6/14- ● PCAN実習Ⅰ開始

大学院PCANコースのPCAN実習Ⅰがスタートしました。

6/18 ● 特別奨学生激励会

短期大学部の特別奨学生を対象に激励会を行いました。

6/23 ● 学生の活動が採択

高等教育コンソーシアム信州の学生活動支援事業に、本学学生の「さくライフ応援プロジェクト」が「地域に貢献できる活動」として採択されました。県外や市外から通勤・進学などで市内で新生活を迎える人向けの冊子を作成する予定です。

6/23 ● キャリア開発支援プログラム

看護学部3年次生が、リモートで参加した現場で働く先輩方の話を聞きました。

6/24 ● 防災訓練

6/25 ● 連携協定校との連絡協議会

短期大学部が連携協定を結ぶ高校との連絡協議会を開催しました。

6/25 ● 寄附金贈呈式

佐久商工会議所様より、人間福祉学部の開設に伴いご寄附をいただきました。



6/28- ● 看護総合実習開始

看護学部4年次生が看護総合実習を行いました。

6/28 ● キャリア開発支援プログラム

看護学部3年次生が「就職活動マナー講座」を受講しました。

6/28- ● 授業公開・参観

高校生及び高校教員を対象に短期大学部の授業を公開しました。

6/29 ● 「地域と文化」学外授業

短期大学部1年次生が望月歴史民俗資料館での学外授業を行いました。



7/3 ● 導入基礎演習発表会

看護学部1年次生が、SDG'sをテーマに取り組んだプロフェクトの発表を行いました。

7/5 ● 寄附金贈呈式

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター職員有志一同様より、看護学生への支援としてご寄附をいただきました。



7/5 ● 「保育者論」学外授業

子ども福祉専攻1年次生が、小雀保育園での学外授業を行いました。



7/19- ● PCAN実習Ⅱ開始

大学院PCANコースの4か月におよぶPCAN実習Ⅱがスタートしました。

助産学専攻科 令和4年4月開設



佐久大学では、より専門性の高い助産師養成教育を行うべく、別科から専攻科へ移行するため、文部科学省に助産師学校変更承認申請を行っていましたが、このたび、文部科学大臣から正式に変更承認を受けました。令和4年4月に開設する助産学専攻科の概要および学生募集要項は、佐久大学ホームページにてご覧いただけます。

寄附金のお願い

本学園の教育研究にかかわる諸活動に対してご支援、ご協力をいただき、高等教育機関としての社会的使命を実現するために、皆さまからのご寄附をお受けしております。今年2月に完成した新校舎内には、ご寄附いただいた方への感謝の意を表すため「寄附銘板」を設置させていただきました。今後とも格別のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

**募集金額 個人：一口 3,000円より
法人：特に定めない**

※税法上の優遇措置が適用されます。

※詳細につきましては、ホームページまたは担当(総務課)までお問合せください。

<https://www.saku.ac.jp/about/donation/>
TEL.0267(68)6680 E-Mail.soumu@saku.ac.jp

新型コロナワクチン接種状況



長野県・佐久市・地域企業の皆さまのご厚意により、下記のとおり、学外実習を行う看護学部4年次生から順次接種を行うことができました。個人での接種を含め、10月末時点で学生および教職員のワクチン接種がほぼ完了しました。

① 6月 3日 ② 6月24日	看護学部4年次生、別科生	浅間総合病院
① 7月10日 ② 8月 7日	看護学部3年次生、教職員	ミネベアミツミ
① 9月 6日 ② 10月 4日	看護学部1.2年次生、 人間福祉学部1年次生、 短期大学部1.2年次生、教職員	のぞみグループ

大学院看護学研究科

特定行為研修の区分を追加

佐久大学大学院看護研究科プライマリケア看護コースでは、特定行為研修を行っています。在宅や施設等で実施する頻度の高い8区分17行為でスタートしましたが、今年度より2区分が追加となり、10区分23行為となりました。

今年度追加した特定行為

特定行為区分の名称	特定行為
呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更
	人工呼吸管理がなされているものに対する鎮静薬の投与量の調整
	人工呼吸器からの離脱
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
	橈骨動脈ラインの確保

ご意見ご感想をお寄せください

佐久学園をより身近に感じていただき親しんでいただける広報誌となるように、皆さまからのご意見、ご感想を募集しています。メールにてお送りください。



「佐久の薫風」バックナンバーは
こちらからご覧いただけます。



ご意見・ご感想はこちらへ

✉ tsushin@saku.ac.jp

今年のノーベル生理学医学賞は、アメリカの2人の基礎生理学者が受賞しました。医学がこれほど進歩する中、ひとの身体が「どのような温度を感じるのか」について、実は最近までよくわかっていなかったということに驚きました。ひとの感覚神経には、辛さを感じるTRPV1(トリップ・バイワン)という受容体があり、辛いだけでなく、43℃以上15℃以下の熱刺激や、酸など複数の痛み刺激で活性化して、辛さや熱を痛みという感覚として検知するそうです(記事参考…生理学研究所)。

このメカニズムの解明により、将来、慢性疼痛の治療への応用が期待されているそうです。

身近なことに目を向ける大切さは、『佐久の薫風』の編集でもいつも感じています。

最後に、お蔭様で今号も無事に発行することができました。記事をお寄せくださった学生さんや教職員のみなさまに心から感謝申し上げます。

(広報委員 N)

編集後記

